

科目	景観工学 (Landscape Design)		
担当教員	亀屋 恵三子 准教授		
対象学年等	都市工学科・5年・後期・選択・2単位 (学修単位II)		
学習・教育目標	A4-S1(100%)	JABEE基準1(1)	(d)1.(d)2-a,(d)2-d,(g)
授業の概要と方針	景観問題は広く環境問題でもあり, 工学的観点とも深い結びつきがある。ここでは景観についての基本的考え方, 景観計画に必要な基礎知識を理解し, 習得した知識を学生自身に発表してもらうことで景観工学についての理解を深めることを目的とする。景観計画に関する基礎概念, 景観の工学的な把握法, 景観分析手順について理解を深める。		
	到達目標	達成度	到達目標毎の評価方法と基準
1	【A4-S1】工学的観点から, 景観計画の基礎概念および把握法を理解し説明することができる。		景観の意義や景観工学の成り立ちなどが理解できているか, 景観工学に必要な知識・工学的手法や法律などについて理解しているかを定期試験によって評価する。
2	【A4-S1】景観分析の基礎を把握し説明できる。		授業で習得した景観に関するテーマで発表ができるか, 適切な質問ができるかをプレゼンテーションで評価する。
3	【A4-S1】景観について学んだ事を発表できる。		授業で習得した景観に関するテーマで発表ができるか, 適切な質問ができるかをプレゼンテーションで評価する。
4	【A4-S1】景観の描画技法でスケッチができる		景観の描画技法を用いて, スケッチを描くことができるかレポート課題にて評価する
5			
6			
7			
8			
9			
10			
総合評価	成績は, 試験70% レポート10% プレゼンテーション20% として評価する。100点満点とし60点以上を合格とする。		
テキスト	プリント		
参考書	景観工学, 日本まちづくり協会 (理工図書) 景観原論 景観論 (土木工学大系13), 中村良夫 (彰国社) 景観工学, 石井一郎 他 (鹿島出版会)		
関連科目	デザイン工学		
履修上の注意事項			

